

SANTA CLARA郡

選挙管理計画

付録



目次

はじめに.....	3
投票センターの場所.....	3
言語支援の更新内容.....	3
アウトリーチの方法.....	4
リモートアクセス郵便投票.....	5

はじめに

2020年11月3日の大統領総選挙に先立ち、有権者登録事務局 (ROV) は、更新された投票センターの要件事項、郡が対応する言語の追加、新たなアウトリーチの方法について特にお知らせするために、現行の選挙管理計画に追補する付録を作成しました。

投票センターの場所

Newsom知事は、2020年6月3日に行政命令N-67-20を発令しました。この命令において、投票センターを選挙日の十 (10) 日前から、選挙日当日を含めて十一 (11) 日間開館することとする郡への義務付けが削除されました。本付録作成時点で、ROVでは、法の認めるところにより選挙日の三 (3) 日前から選挙日当日を含めて合計四 (4) 日間開館することが義務付けられる4日間開館の投票センターを百 (100) 箇所設置することになっています。4日間開館の投票センターに関する条件は、郡の登録済み有権者10,000人当たり一箇所設置することです。2020年11月3日の大統領総選挙までに見込まれる登録有権者の人数をもとにすると、ROVは最低百 (100) 箇所の投票センターを設置する必要が生じることになります。

更新された投票センターの内訳は以下のとおりです。

推定投票センター数			
選挙区分	最低必要数	提案数	確定数
4 日間開館の投票センター (登録済み有権者1万人あたり1箇所)	100	100	未定

この計算は、郡の登録有権者10,000人当たり1箇所の投票センターを設けることを前提にしています。2020年11月3日の大統領総選挙までに見込まれる登録有権者の人数をもとにすると、ROVは最低百 (100) 箇所の投票センターを設置する必要が生じることになります。

言語支援の更新内容

2020年5月に州務長官事務所は、選挙法規 (EC) 4201項の言語マイノリティの該当規定に基づき、州の義務付けに該当する言語を新たに追加しました。Santa Clara郡で義務付け規定に該当し追加された五つの言語：グジャラート語、ネパール語、パンジャブ語、タミール語、およびテルグ語。

ROVではこれらの州義務付け規定に該当する新たな言語において、次のサービスを提供する予定です。

州義務付け規定に該当する新たな言語	翻訳された資料およびサービス	見本投票用紙
<ul style="list-style-type: none"> ▪ グジャラート語、 ▪ ネパール語、 ▪ パンジャープ語、 ▪ タミール語 ▪ テルグ語 	<ul style="list-style-type: none"> • EC 14201に基づいた該当投票センターにおける見本投票用紙 • CVIG（郡有権者情報ガイド）に印刷されたすべての言語による見本投票用紙申請書が入手可能 • EC 14201に基づき見本投票用紙は郡のウェブサイトで入手可能 • 投票センターのサインと指示説明 • VBM（郵便投票）申請書 • 有権者変更請求申請書 (VARF) • ROVと投票センターにおいてバイリンガルのスタッフ 	<p>見本投票用紙全文の翻訳：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 表題 • 指示説明 • 管轄区の名称 • 文字をもとにした言語の音訳 • 投票用紙の呼称 • 法案表題

見本投票用紙は有権者が投票する際に参考にするために使うことができる投票用紙のサンプルです。Santa Clara郡、有権者登録事務局は、該当投票センターにおいて、追加される五つの言語による見本投票用紙を用意します。見本投票用紙は、指定の投票センターで、内密に投票用紙に記入して提出する際に使うことができるように用意されます。見本投票用紙は、有権者がこれを用いて投票しようとするのがないよう、正規の投票用紙とは外観が異ならなければなりません。投票センターの職員は、有権者に投票用紙の見本が存在することを伝え、それを有権者から求められた場合に見本投票用紙を提供する方法について訓練を受けます。見本投票用紙が存在していることを有権者に知らせるために、該当投票センターにおいて、電子選挙人名簿の付近に、郡が提供する14の言語（英語、中国語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語、クメール語、韓国語、ヒンディー語、日本語、グジャラート語、ネパール語、パンジャープ語、タミール語、およびテルグ語）すべてによるサインが設置されます。

すべての郡有権者情報ガイドには見本投票用紙の申請書が挿入され、選挙法規14201項に基づき、投票センターにおいて見本投票用紙が要請に応じて提供されるという情報が、14の言語すべてによって記載されます。見本投票用紙が有権者のために用意されている投票センターの一覧は、選挙の少なくとも14日前に郡のウェブサイトに掲載されます。

アウトリーチの方法

州および郡が推奨する保健および安全に関する注意情報に基づき、2020年11月3日の大統領選挙に関する、直接対面による人的接触を伴うアウトリーチ活動はすべて代替方法によって行われます。代替方法には、バーチャルな会合やワークショップ、情報伝達画像や教育的情報のソーシャルメディアへの掲載、印刷物の配布、およびコミュニティ内で人が多く集まる場所における掲示が含まれます。

有権者教育とアウトリーチのチームは、毎月コミュニティのパートナーと共に有権者教育とアウトリーチ委員会のバーチャル会合を開き、アウトリーチの方法や懸念事項、フィードバックなどを話し合うことにしています。また、言語バリアフリー環境諮問委員会、および投票バリアフリー環境諮問

委員会のバーチャル会合にもすべて出席し、更新情報を交換する予定です。五つの新たな言語（グジャラート語、ネパール語、パンジャブ語、タミール語、テルグ語）が加わり、ROVとアウトリーチチームはこれで14の言語に対応することになります。ROVでは、印刷および電子資料を作成することで、各言語の必要に対応することになっています。

さらに、ROVは州や地方の担当者と協力して、本人が直接出向く投票センターを必要とする有権者のために、投票センターの安全とバリアフリー環境の確保に取り組んでいます。ROVは、直接出向いて投票できる場所がどこにあるか、またソーシャルディスタンスや個人用保護具を含めてどのような安全対策が講じられているかを有権者に伝えるメッセージを作成していく予定です。情報がさらに郡内隅々のあらゆる人々に行き渡るようにするために、コミュニティーのパートナー、市民諮問グループ、その他郡の関係機関に情報を伝え、支援を求めることにしています。

リモートアクセス郵便投票

2020年11月3日の大統領総選挙では、California州法により、登録有権者全員がリモートアクセス郵便投票 (RAVBM) システムを用いて、投票用紙を入手、ダウンロード、記入、および印刷することが認められています。RAVBMシステムの目的は、インターネット上で投票することではありません。RAVBMを利用する有権者には、投票用紙のダウンロード、印刷、記入、および投票用紙を投票日までにROVに返送する方法の説明とともに、公式投票用紙にアクセスするためのリンクが記載された電子メールが送信されます。有権者は、電子メールで送信されたリンクを使用して、投票用紙を自分のデバイスにダウンロードし、自分の補助機能を使用して投票用紙を読み、記入する必要があります。すべての登録有権者と同様に、RAVBMを利用する有権者も、投票用紙を提出するには、普通郵便で郵送する方法、投票用紙投函所で投函する方法、あるいはいずれか任意の投票センターで提出する方法の3種類の投票方法があります。